

2024年10月29日
株式会社ロイヤリティ マーケティングPontaリサーチ会員3,000人に聞いた
第61回 Ponta消費意識調査 2024年10月発表【冬のボーナスの使い道ランキング】
「貯金・預金」が減少傾向ながら、11年連続でトップ
「支給されない・分からない」は47.7%で2年連続で過去最高

共通ポイントサービス「Ponta（ポンタ）」を運営する株式会社ロイヤリティ マーケティング（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：長谷川 剛、以下「LM」）は、消費者の意識とポイントの利用意向を把握するため、「第61回 Ponta消費意識調査」を「Pontaリサーチ」にて2024年9月24日（火）～9月27日（金）に実施いたしましたので、ご報告いたします。

注目トピック

「冬のボーナス」の使い道

<消費者意識>

- ・ **冬のボーナスの使い道** (P.2)
 - 冬のボーナスの使い道、「貯金・預金」が11年連続1位。しかし前年に続いて過去最低を更新し、33.5%
- ・ **冬のボーナスの使い道の変化（過去2年比較）** (P.3)
 - 過去調査と比べて「貯金・預金」は、20～30代・50代で減少傾向となり、特に30代が前年比5.9ポイント減少。「支給されない・分からない」では、特に30代で増加傾向が伺える
- ・ **冬のボーナスの支給金額と貯金・預金の割合** (P.4)
 - 冬のボーナスの支給金額が増える見込みが15.5%。支給金額は「20万円未満」の減少幅が大きく、17.6%
 - 冬のボーナスの支給金額の半分以上を「貯金・預金」したい人は5割超
- ・ **冬のボーナスの「貯金・預金」の用途** (P.5)
 - 「貯金・預金」の用途を「決めている」は約4割。前年調査と比べ、最も増えた用途は「病気や災害への備え」

<節約志向>

- ・ **消費者の節約志向** (P.6)
 - 「節約したい」派は66.8%となり、前回調査より0.1ポイント減少

<ポイントサービスの利用意向>

- ・ **ポイントの活用意識と節約志向** (P.7)
 - 「節約したくない」派では、「分からない・決まっていない」が43.7%と最も高い。「節約したい」派では、「いまつかいたい」が45.6%と最も高い。「節約したい」派に高いポイント活用意識がうかがえる

<調査概要>

調査方法：インターネット調査
調査期間：2024年9月24日（火）～9月27日（金）
パネル：「Pontaリサーチ」会員（Ponta会員で「Pontaリサーチ」への会員登録をいただいている方）
回答者数：3,000人 男性・女性×年代別（20・30・40・50・60代以上）の各10セルで300サンプル
※調査結果は小数点第2位を四捨五入しています。

<引用・転載の際のクレジット表記のお願い>

調査結果引用・転載の際は、「Pontaリサーチ 調べ」とクレジットを記載していただきますようお願い申し上げます。

＼ LMは、「Ponta」の「便利・おトク・楽しい」世界が、いつでもどこでも広がる生活密着型サービスを提供しています ／

消費者意識

冬のボーナスの使い道

冬のボーナスの使い道、「貯金・預金」が11年連続1位。しかし前年に続いて過去最低を更新し、33.5%

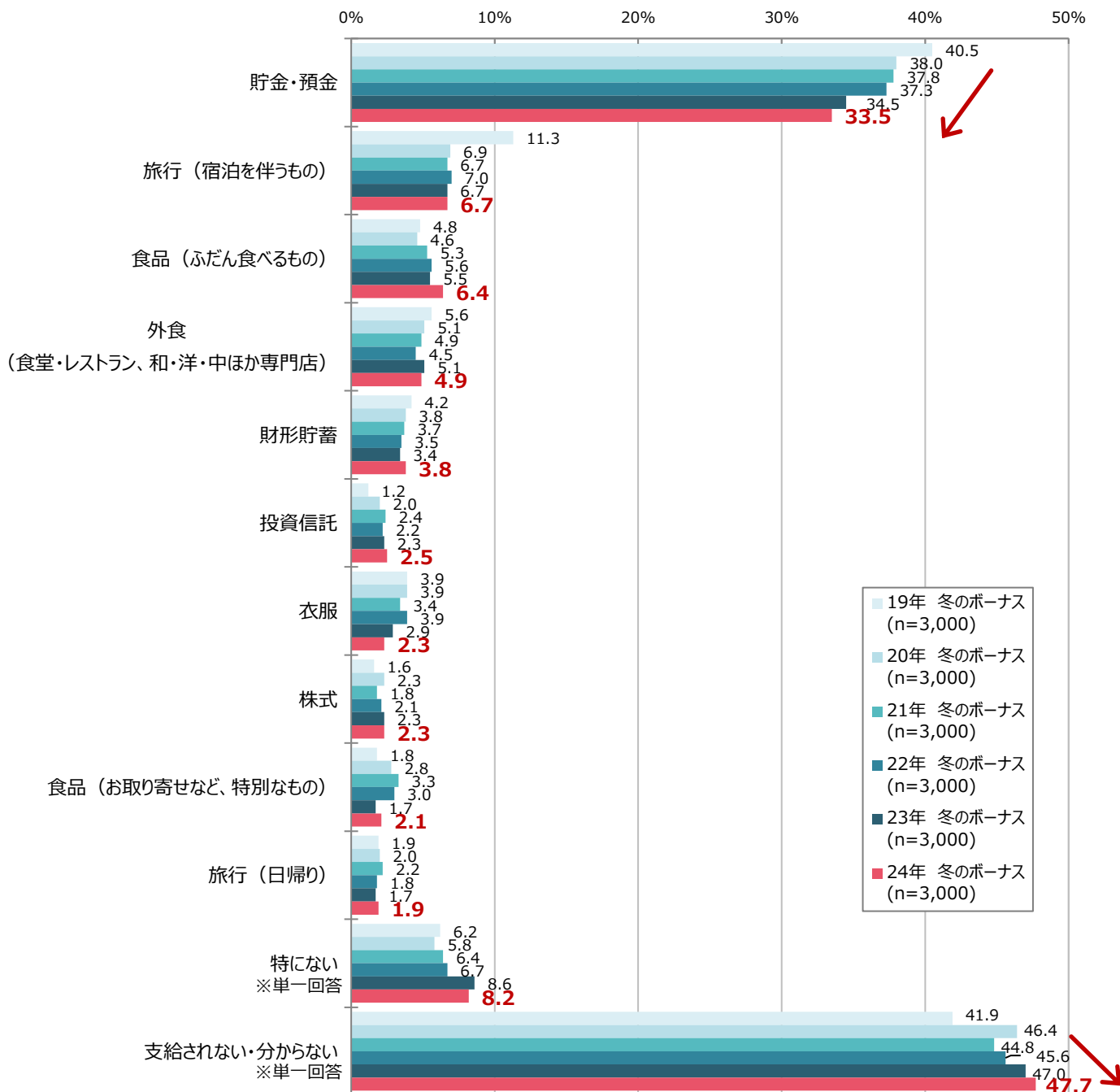
- 冬のボーナスの使い道について、11年連続で「貯金・預金」が1位となった。しかし、割合を見ると2019年調査（40.5%）以降、5年連続で前年を下回り、過去最低の33.5%となった。2位は「旅行（宿泊を伴うもの）」6.7%、3位は「食品（ふだん食べるもの）」6.4%となった。
- 「支給されない・分からない」は半数近い47.7%となった。昨年に続いて、過去最高を更新した。

■今年の冬のボーナスの使い道を教えてください。（3つまでの複数回答）

※今回調査で上位10項目を抜粋（「特にない」「支給されない・分からない」を除く）

※回答が同数で順位に差がある場合は、小数点第2位以下に差があるため

※2014～2018年の冬のボーナスに関する調査結果は、こちらからご確認いただけます (<https://www.loyalty.co.jp/news/2019103001>)



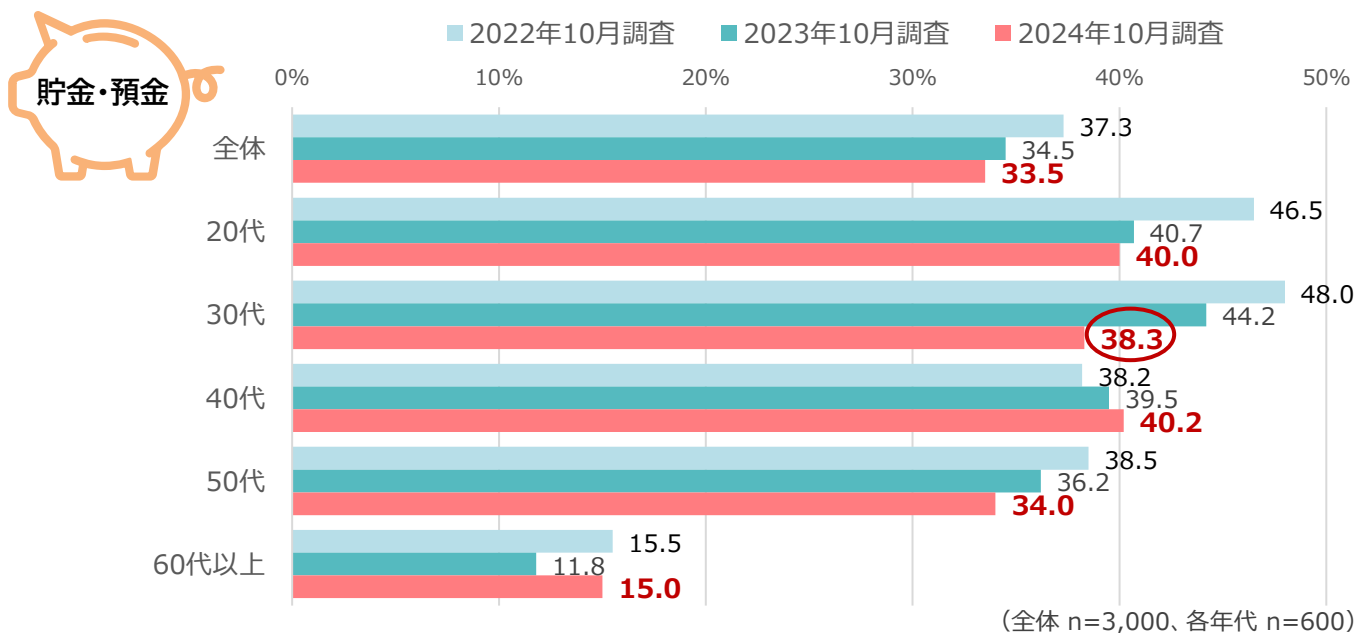
消費者意識

冬のボーナスの使い道の変化（過去2年比較）

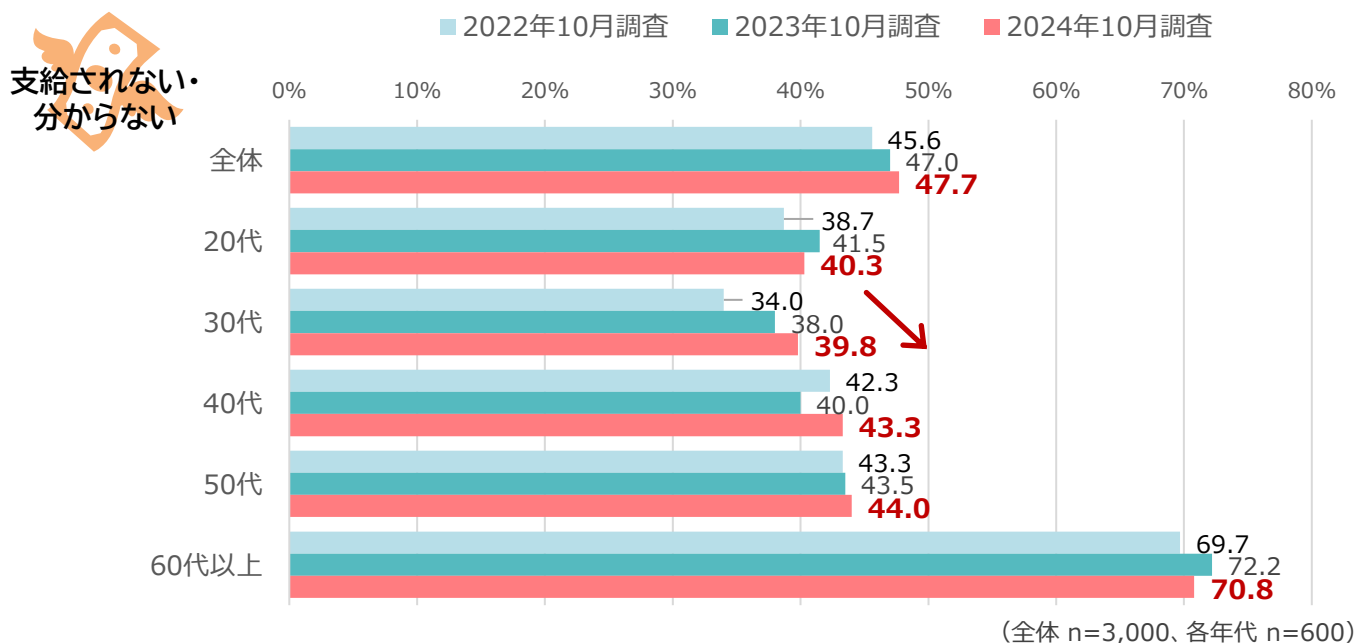
過去調査と比べて「貯金・預金」は、20～30代・50代で減少傾向となり、特に30代が前年比5.9ポイント減少。「支給されない・分からない」では、特に30代で増加傾向が伺える

- ・今年の冬のボーナスの使い道について、2022年以降の調査と比較したところ、「貯金・預金」は20代・30代・50代で減少傾向が伺えた。特に30代は今回、前年調査比で5.9ポイント、2022年調査比では9.7ポイント減少しており、減少幅が大きかった。
- ・「支給されない・分からない」は、30代・50代が2022年調査から2年連続で増加した。特に30代は今回、前年調査比で1.8ポイント、2022年調査比では5.8ポイント増加し、増加幅が大きかった。

【冬のボーナスの使い道で「貯金・預金」を選んだ方を2022年・2023年調査と比較】



【冬のボーナスの使い道で「支給されない・分からない」を選んだ方を2022年・2023年調査と比較】



消費者意識

冬のボーナスの支給金額と貯金・預金の割合

冬のボーナスの支給金額が増える見込みが15.5%。支給金額は「20万円未満」の減少幅が大きく、17.6%

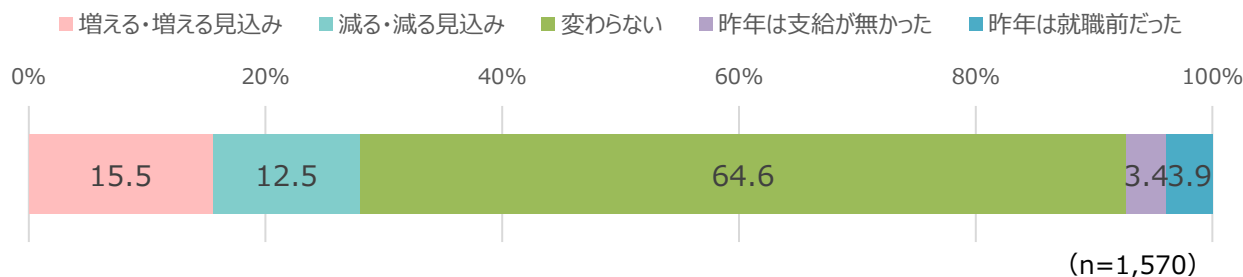
- ・今年の冬のボーナスが支給される方（見込み含む）に、昨年と比較した支給金額を聴取したところ、「増える・増える見込み」が15.5%、「減る・減る見込み」が12.5%となった。「変わらない」が最多で約6割だった。
- ・支給金額（想定額を含む）は、前年調査と比べて「20万円未満」の減少幅が最も大きく、3.4ポイント減って17.6%だった。「40万円～60万円未満」から「100万円～120万円未満」がそれぞれ増加した。

冬のボーナスの支給金額の半分以上を「貯金・預金」したい人は5割超

- ・冬のボーナスの支給金額のうち、貯金・預金したい額の割合が半分以上の人は55.0%だった。

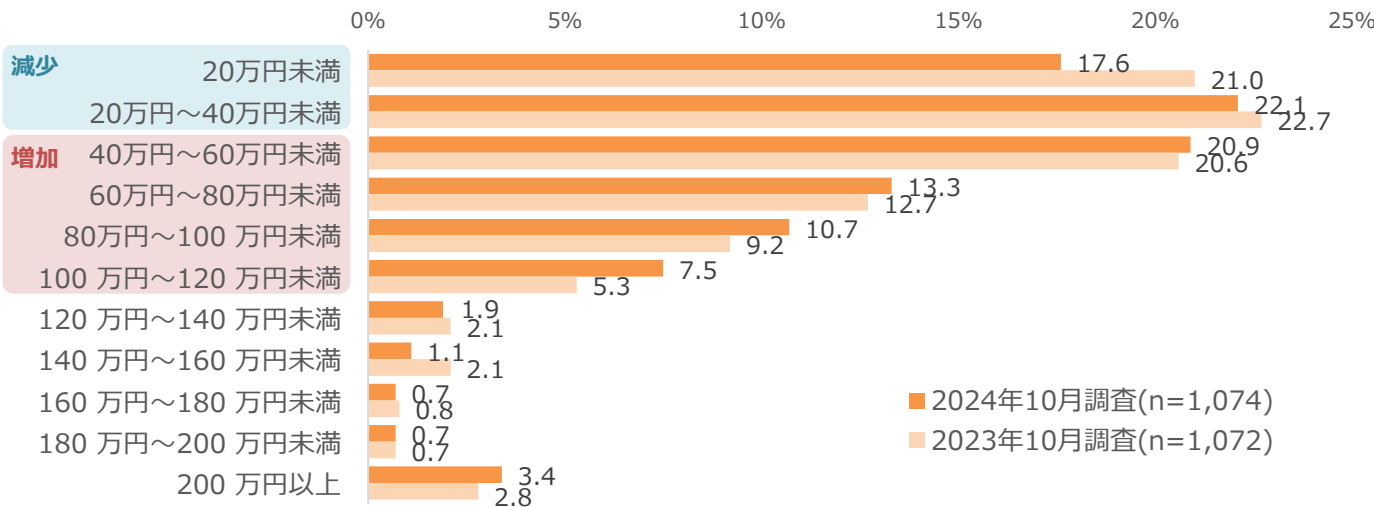
■今年の冬のボーナスの金額（世帯あたり）は、昨年の冬のボーナスと比較して、どう変化したか教えてください。これから支給される場合は、見込みを教えてください。（単一回答）

「今年の冬のボーナスの使い道を教えてください。」（P.2）の設問に対し、「支給されない・分からない」と回答した方を除く。



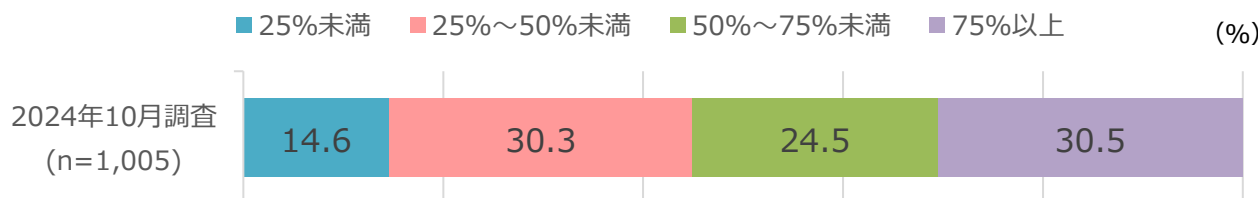
■あなたもしくは家族にボーナスが支給される場合、今年の冬のボーナスの金額(世帯あたり)を教えてください。これから支給される場合は、想定される金額を教えてください。（単一回答）

冬のボーナスの使い道に「支給されない・分からない」を選んだ方以外が回答。本設問で「分からない・答えたくない」と回答した n=496 を除き算出



■支給される金額のうち、どの程度貯金・預金したいか、お答えください。（単一回答）

今年の冬のボーナスの使い道に「貯金・預金」を選んだ方のみ回答。



消費者意識

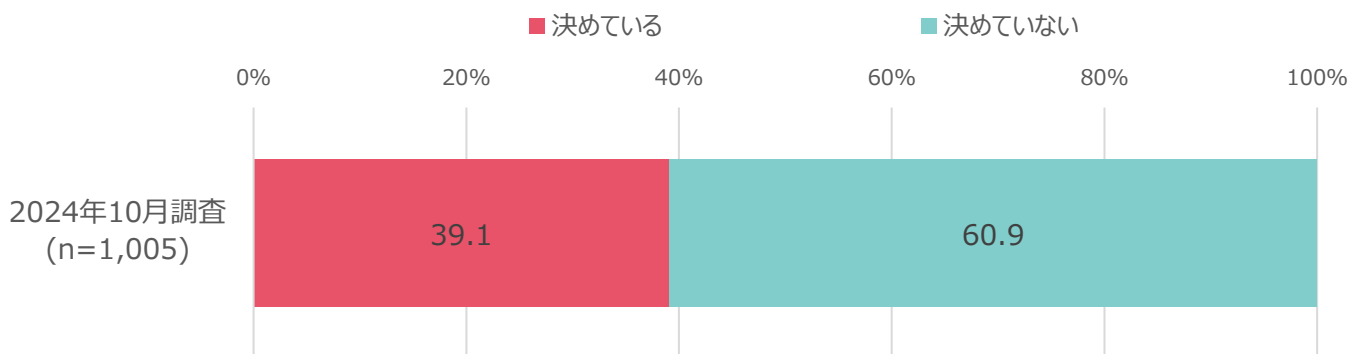
冬のボーナスの「貯金・預金」の用途

「貯金・預金」の用途を「決めている」は約4割。前年調査と比べ、最も増えた用途は「病気や災害への備え」

- ・冬のボーナスの使い道に「貯金・預金」と答えた方のうち、用途を「決めている」のは39.1%となった。
- ・貯金・預金の用途について、「老後の生活への備え」が62.6%で最多だった。前年調査と比べて、変化が大きかったのは「病気や災害への備え」で、4.0ポイント増加して25.2%だった。

■「貯金・預金」の用途は決めていますか。（単一回答）

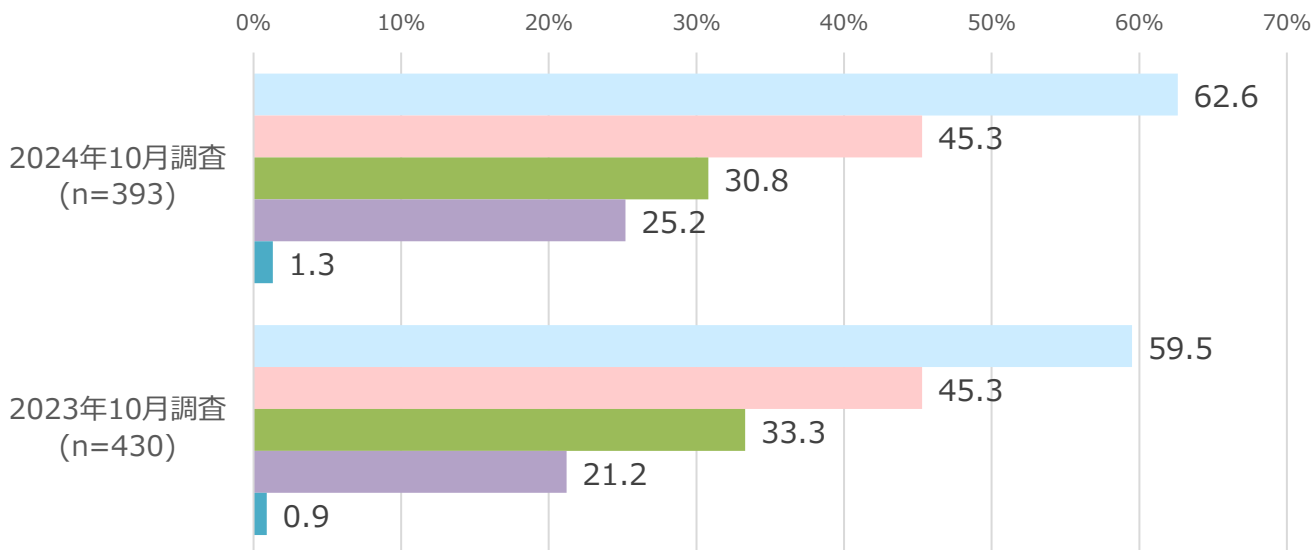
今年の冬のボーナスの使い道に「貯金・預金」を選んだ方のみ回答。



■「貯金・預金」の用途を教えてください。（いくつでも）

今年の冬のボーナスの使い道に「貯金・預金」を選んだ方のうち、用途を決めている方のみ回答。

- 老後の生活への備え
- 収入の変化への備え
- その他
- 将来の消費への備え（住宅購入、子供の学費など）
- 病気や災害への備え



節約志向

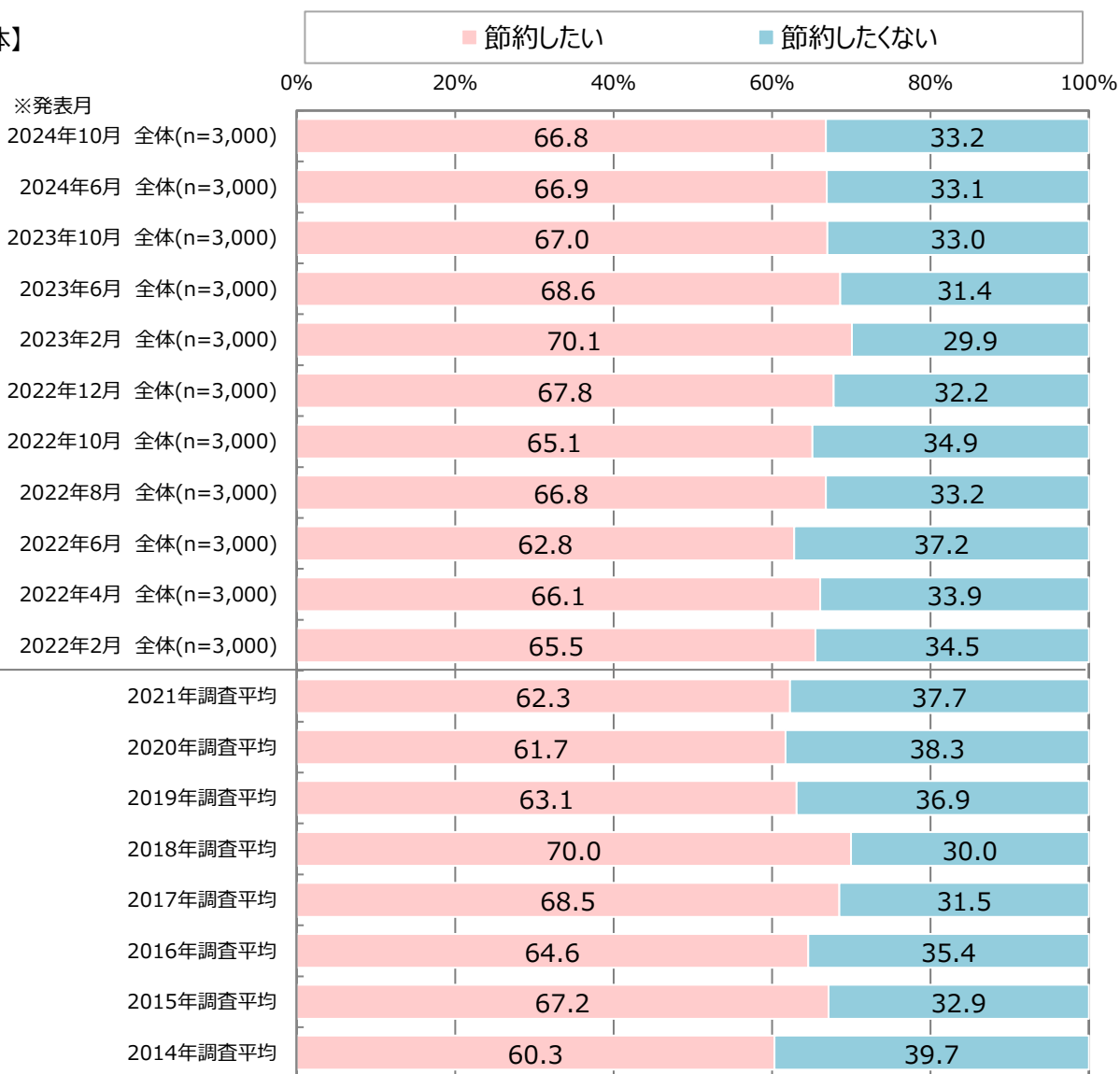
消費者の節約志向

「節約したい」派は66.8%となり、前回調査より0.1ポイント減少

・今月の家計の支出を節約したい金額に1円以上を回答した「節約したい」派は、66.8%となった。

■今月の家計の支出を節約したい割合

【全体】



・節約したい…節約したい金額が1円以上
 ・節約したくない…節約したい金額が0円

【参考】 <設問> あなたは、今月の家計の支出をどのくらい節約したいですか。（半角数字で入力）
 ※とくに節約したいと思わない人は「0」と入力してください。

※2014年調査平均は4～12月の偶数月5回分、その他の年ごとの調査平均は2月～12月の偶数月6回分の平均です。各調査n=3,000、2014年4月調査のみn=3,013です。

ポイントサービスの利用意向

ポイントの活用意識と節約志向

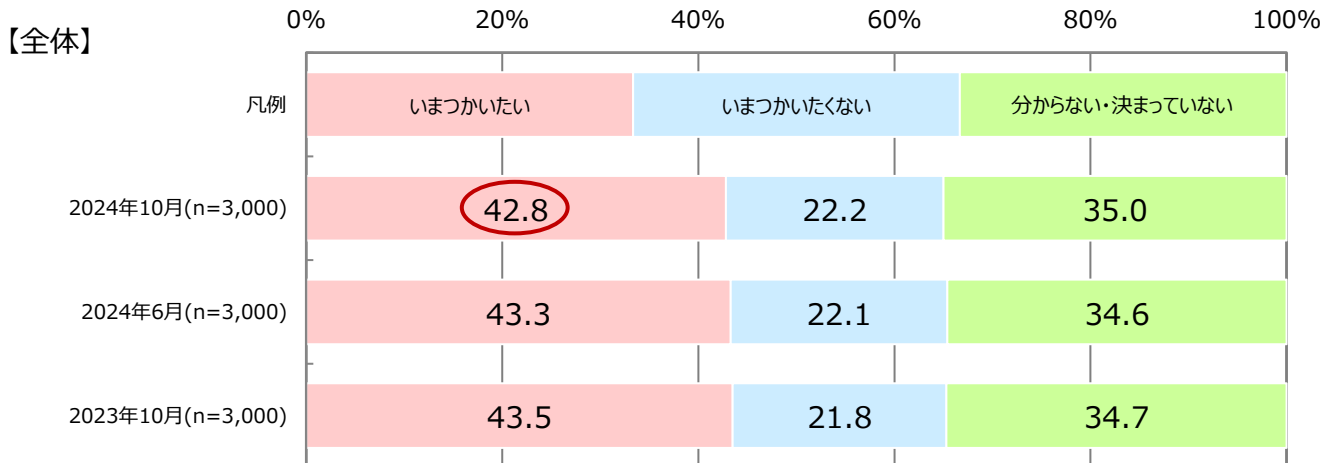
「節約したくない」派では、「分からない・決まっていない」が43.7%と最も高い。

「節約したい」派では、「いまつかいたい」が45.6%と最も高い。

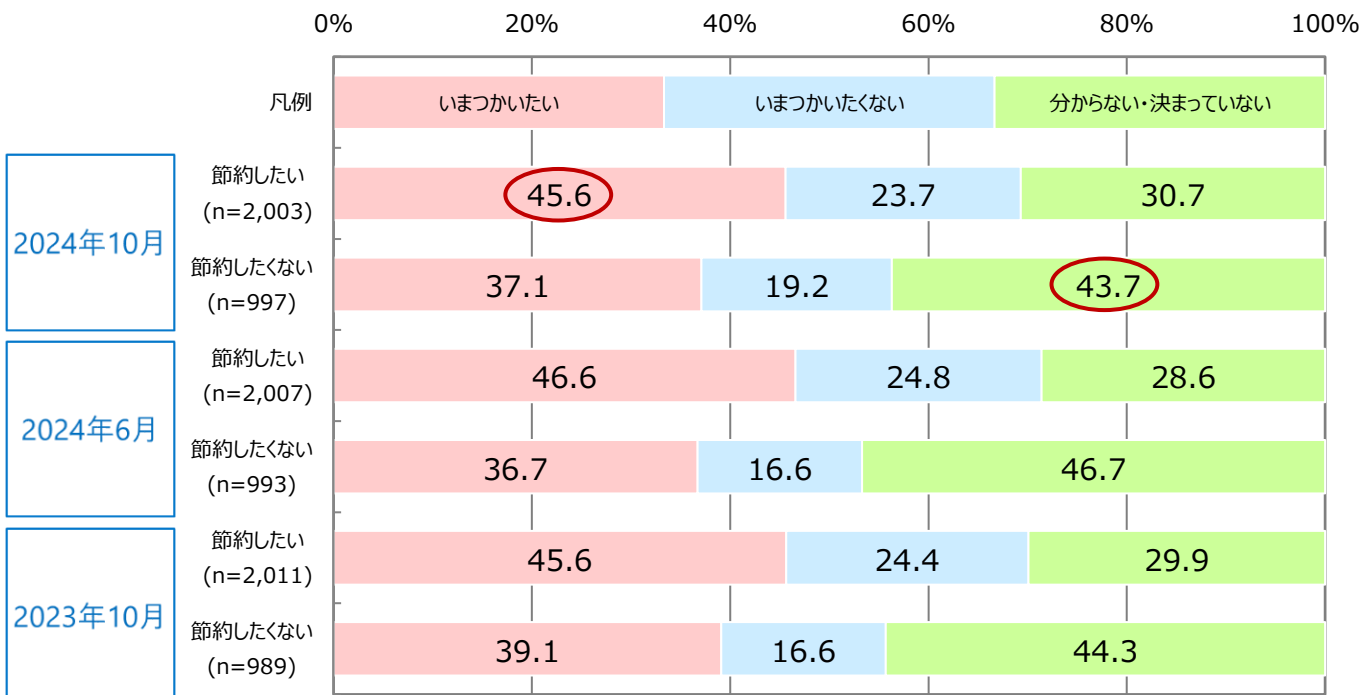
「節約したい」派に高いポイント活用意識がうかがえる

・いまPontaポイントをつかいたいかについて、全体で「いまつかいたい」が最も高く、42.8%となった。

■あなたはいまPontaポイントをつかいたいですか。(単一回答)



【節約志向の有無別】 (2023年10月～2024年10月調査)



<「Pontaリサーチ」について>

PontaリサーチはLMが提供するリサーチサービスで、Ponta会員のうち「Pontaリサーチ」にご登録いただいているPontaリサーチ会員を対象に、自主調査や企業および団体などから依頼を受けたアンケートをご案内しています。Pontaリサーチ会員の皆様は、アンケートにご協力いただくことでPontaポイントをためることができます。

「Pontaリサーチ」サイトURL：<https://www.loyalty.co.jp/ponta-research/>

